

普段住み慣れた町を歩き、魅力を新たに発見、再認識してもらうことを目的に10月20日(土)、小泊地域でなかどまり散策ウオークが行われました。

今回のウオークは、春に中里地域で行われたウオークと同様、街歩きで資源を発掘しようと開催。町内外から約20人が参加し、徐福の里物産品直売所をスタート・ゴールとした6.1キロのコースを散策しました。

小泊地域とあって、道のりは坂の上り下りが激しく、約8～9キロくらい歩いたように感じるきついコース。しかし、小泊の美しい景色が楽しめるのとあって、参加者は笑顔を見せながら歩いていました。途中、町博物館下前分館にも寄り、齋藤学芸員から展示資料などの解説も受け、小泊の漁業へ理解を深めていました。

全員が完歩したあと、昼食におにぎり・焼きイカ・エビヤツブなど海産物が入った振舞鍋が出され、参加者は食べながら歩いたコースを振り返っていました。



## 秋のさわやかな空と湧き水楽しむ

さあさぐべし  
なかどまり



ウォーキングの楽しさと準備運動の大切さを知ってもらおうと10月8日(祝)、大沢内ため池を周遊するウォーキングイベントが行われ、小さい子どもから高齢者まで約50人が参加しました。

最初に、健康運動指導士 葛原仁美さんによるエクササイズで硬い体をほぐしたあと、参加者は1周6キロのコースを歩き始めました。この日は、岩木山がくっきり見えるほどのさわやかな秋晴れで、自然と足取りも軽く、笑顔で歩いているのが印象的でした。

途中、環境省「平成の名水百選」に認定されている「湧つぼ」では、わき出る清水を口を含み休憩。残りのコースを歩き、参加者全員が完歩しました。

豊岡地区から参加した武田小1年の石川菜さんは「山は初めてで、景色もよく楽しかった。(湧つぼの水は)冷たくておいしかった」と楽しんだ感想を話していました。

